

道路事業の再評価説明資料

〔国道113号 鷹ノ巣道路〕

平成25年11月

北陸地方整備局

目 次

1. 事業の概要	
(1) 事業の目的	P 1
(2) 事業の概要	P 2
2. 現在に至る経緯	P 3
3. 当該道路の役割・効果	P 4
1) 3便益に係る整備効果	
① 走行時間の短縮	P 6
② 交通事故件数の減少	P 7
2) 防災面を含む多様な効果	
① 災害に強い道路ネットワークの形成	P 8
② 孤立集落の解消・経済活動停止の回避	P 9
③ 救急医療施設への「命の道」としてのアクセス向上	P 10
④ 冬期交通障害の解消	P 11
4. 費用と効果	P 12
5. 対応方針（原案）	P 13
参考資料	P 14

1. 事業の概要

1) 事業の目的

当事業は、地域高規格道路「新潟山形南部連絡道路」の一部区間を形成し、

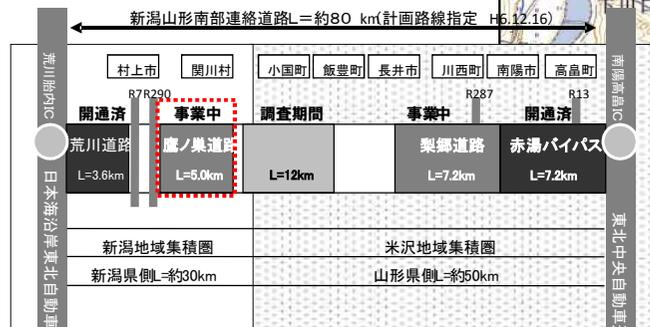
- 災害に強い幹線道路ネットワークの形成
- 急カーブ・急勾配区間及び冬期交通障害等の回避
- 物流や観光、地域経済活動の活性化 など

を目的とし、国道113号の新潟県岩船郡関川村大字下川口～大字片貝間の延長5.0kmについて道路整備を行うものである。

広域位置図



平面図



1. 事業の概要

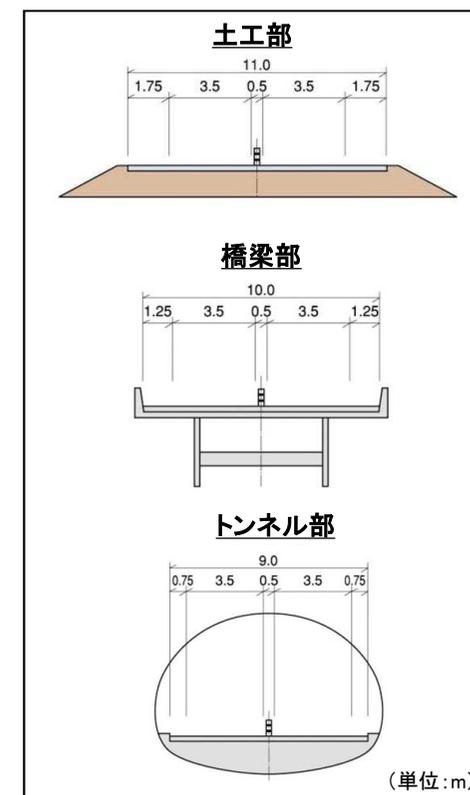
2) 事業の概要

- 事業名：国道113号 鷹ノ巣道路
- 起終点：(起)新潟県岩船郡関川村大字下川口
(終)新潟県岩船郡関川村大字片貝
- 事業化：平成9年度
- 工事着手：平成13年度
- 平成25年度末までの投資額(予定)：48億円(進捗率約32%)
- 延長：5.0km
- 用地着手：平成13年度
- 全体事業費：153億円(完成2車線)

平面図



標準横断面図



3. 当該道路の役割・効果

〈3 便益に係る整備効果〉

① 走行時間の短縮(P6)

- 鷹ノ巣道路の整備により、事業区間の走行時間が約5分短縮する。
- 円滑な走行環境が確保され、鷹ノ巣道路及び国道113号の損失時間が年間約17万人時間削減される。また、走行時間の短縮による便益が年間8.9億円発生する。
- 供用後50年間の総便益は、割引率4%などを考慮すると128億円と算出される。

【走行時間短縮便益】

$$\begin{aligned}
 &= \text{整備前総走行時間費用} - \text{整備後総走行時間費用} \\
 &= 9(\text{億円/年}) \times \text{※ 便益算定上の開通年次(H32年度)の便益} \\
 \text{総走行時間費用} &= \sum \sum [\text{路線別車種別交通量(台/日)} \times \text{路線別走行時間(分)} \\
 &\quad \times \text{車種別時間価値原単位(円/台・分)}] \times 365(\text{日/年})
 \end{aligned}$$

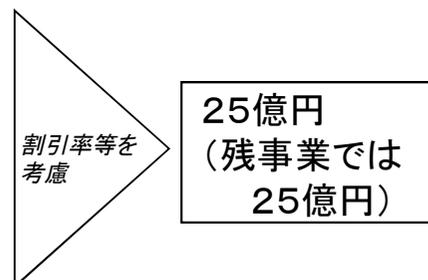


② 走行経費の減少

- 鷹ノ巣道路の整備により、走行経費減少により年間1.7億円の便益が発生する。
- 供用後50年間の総便益は、割引率4%などを考慮すると25億円と算出される。

【走行経費減少便益】

$$\begin{aligned}
 &= \text{整備前総走行経費} - \text{整備後総走行経費} \\
 &= 2(\text{億円/年}) \times \text{※ 便益算定上の開通年次(H32年度)の便益} \\
 \text{総走行経費} &= \sum \sum [\text{路線別車種別交通量(台/日)} \times \text{路線別延長(km)} \\
 &\quad \times \text{車種別走行経費原単位(円/台・km)}] \times 365(\text{日/年})
 \end{aligned}$$

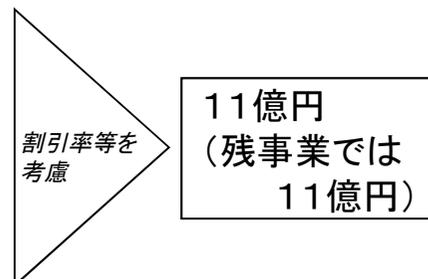


③ 交通事故の減少(P7)

- 鷹ノ巣道路の整備により、通過交通等の転換による並行区間の交通量減少及び周辺道路の安全性向上に伴い、年間約9件の死傷事故件数の削減が期待される。
- 鷹ノ巣道路の整備に夜死傷事故件数の削減により、年間0.8億円の便益が発生する。
- 供用後50年間の総便益は、割引率4%などを考慮すると11億円と算出される。

【交通事故減少便益】

$$\begin{aligned}
 &= \text{整備前の交通事故による社会的損失} - \text{整備後の交通事故による社会的損失} \\
 &= 1(\text{億円/年}) \times \text{※ 便益算定上の開通年次(H32年度)の便益}
 \end{aligned}$$



3. 当該道路の役割・効果

〈防災面を含む多様な効果〉

①災害に強い道路ネットワークの形成（8ページ）

- 冠水危険区間及び線形不良区間や防災点検箇所等を回避することで災害に強い道路ネットワークが形成。
- 災害による通行止めに伴う大幅な迂回が解消。
- 第1次緊急輸送道路として、緊急時の防災拠点等へのアクセス信頼性が確保。

②孤立集落の解消・経済活動停止の回避（9ページ）

- 沿線集落の孤立化の恐れが解消されることで、住民の安全で安心な暮らしが確保。
- 孤立の恐れが解消されることで、沿線観光施設の営業が維持され、災害時の社会的損失が減少。

③救急医療施設への「命の道」としてのアクセス向上（10ページ）

- 救急医療施設へのアクセスが向上し、迅速な救命救急活動を支援。
- 県立坂町病院への搬送時間が約5分短縮。搬送時間の短縮により、関川村県境部及び山形県小国町の救命率が向上。
- 県境を越えて出産や人工透析などのために通院する山形県小国町住民の移動時間短縮及び安全性が確保。

④冬期交通障害の解消（11ページ）

- 急勾配や急カーブなど線形不良区間を回避することで、冬期の交通障害を解消。
- 登坂不能車両による冬期交通障害を解消。
- 冬期における走行性が向上することで、広域移動時のルートとして信頼性が向上。

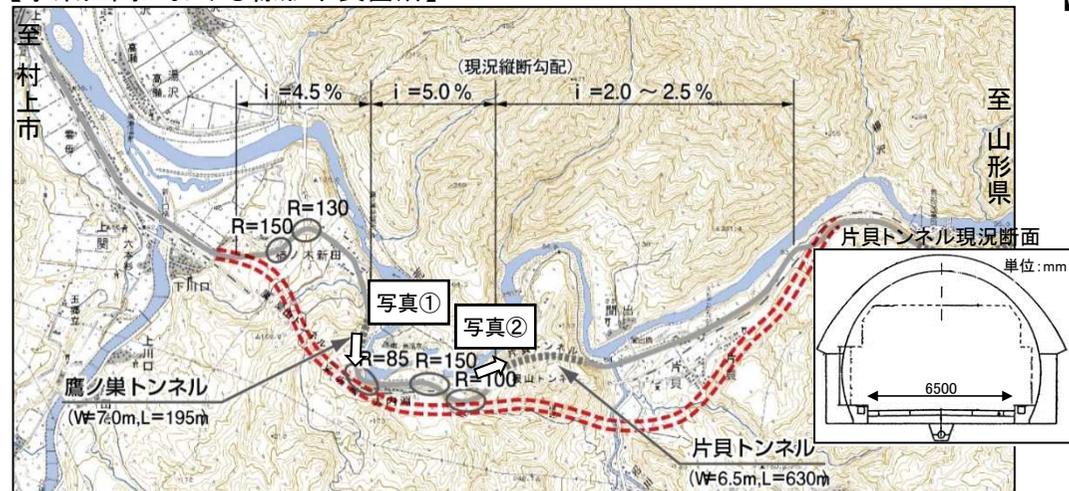
3. 当該道路の役割・効果

1) 3便益に係る整備効果

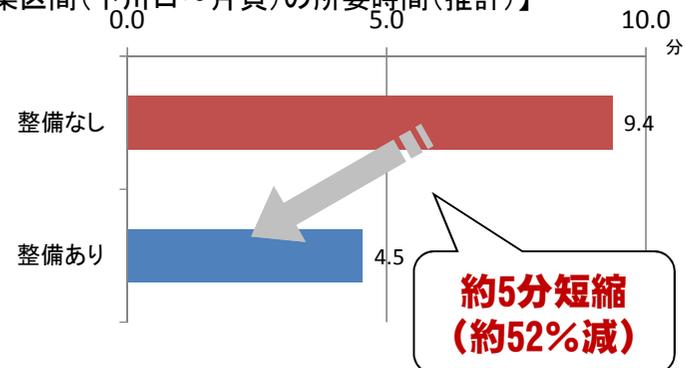
① 走行時間の短縮

- ・ 鷹ノ巣道路の事業区間は、急カーブ区間や急勾配区間・トンネル区間が連続し、旅行速度が低下するなど、円滑な走行を阻害している。
- ・ 鷹ノ巣道路の整備により、円滑な走行環境が確保され、事業区間の旅行速度が向上し、走行時間約5分の短縮効果が見込まれる。また、鷹ノ巣道路及び国道113号現道における年間の損失時間約17万人時間の削減も見込まれる。

【事業区間における線形不良箇所】

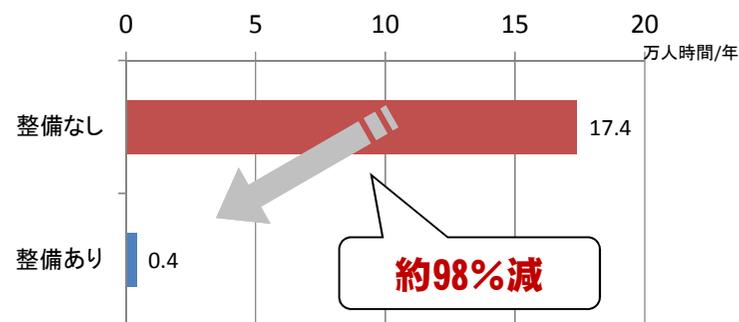


【事業区間(下川口～片貝)の所要時間(推計)】



※出典：H42将来推計値を用いて算出

【鷹ノ巣道路及び国道113号現道の損失時間(推計)】



※出典：H42将来推計値を用いて算出



【写真①】 大内測地先の線形不良箇所 (R=85)



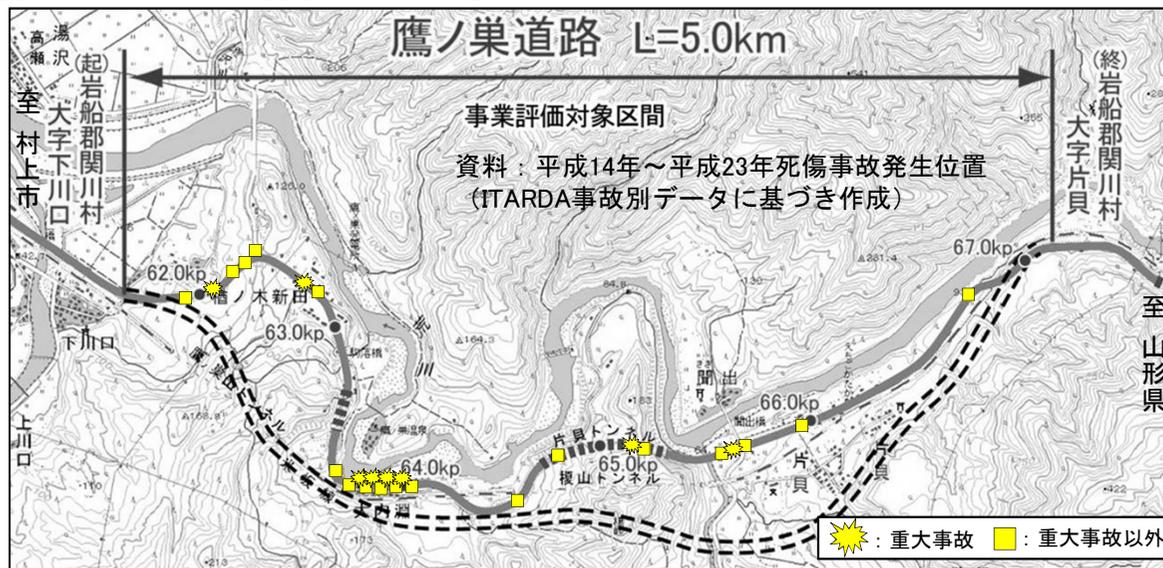
【写真②】 幅員が狭く見通しも悪い片貝トンネル(L=630m)

3. 当該道路の役割・効果

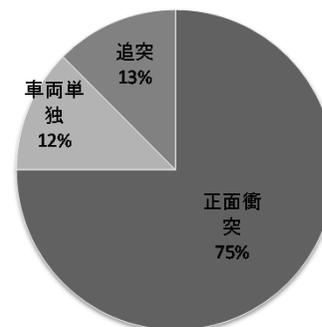
②交通事故件数の減少

- 鷹ノ巣道路の事業区間は、死傷事故が多発している区間が点在し、重傷者が含まれる重大事故も発生している。また代替路が無い場合、事故発生時は渋滞などの交通障害が発生している。
- 鷹ノ巣道路の整備により、現道の通過交通や大型車がバイパスに転換することで、事業区間及び現道における安全な走行環境が確保され、年間約9件(▲88%)の死傷事故件数の削減が期待できる。

【事業区間における死傷事故発生状況】



【重大事故の事故類型別内訳】



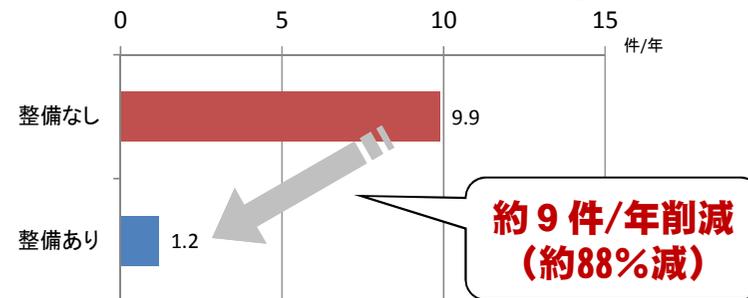
N=8

資料：平成14年～平成23年交通事故発生件数 (ITARDAデータ)

【写真：▲片貝トンネル内での事故】



【鷹ノ巣道路及び国道113号現道の死傷事故件数(推計)】



※出典：H42将来推計値を用いて算出

3. 当該道路の役割・効果

2) 防災面を含む多様な効果

① 災害に強い道路ネットワークの形成

- 国道113号は山間部を通過する代替路が無い地域の唯一の幹線道路で、災害時には大幅な迂回が強いられる。
- 国道113号は、新潟県地域防災計画及び山形県緊急輸送道路ネットワーク計画において第1次緊急輸送道路に指定されている。
- 鷹ノ巣道路の整備により、冠水危険区間や防災点検箇所を回避することで安全な走行環境が確保され、災害に強い道路ネットワークが形成される。

【周辺エリアの緊急輸送道路網
[新潟県・山形県・宮城県・福島県]】



【過去に発生した主な災害等】

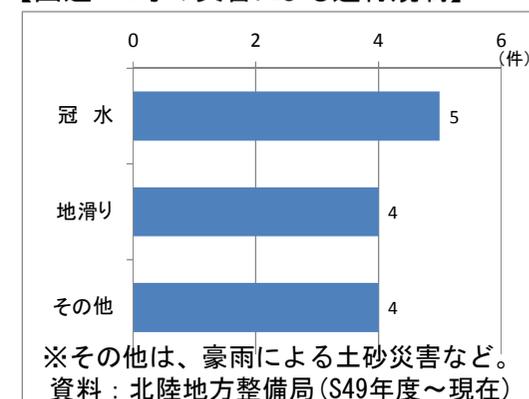


【国道113号通行止めによる迂回経路】

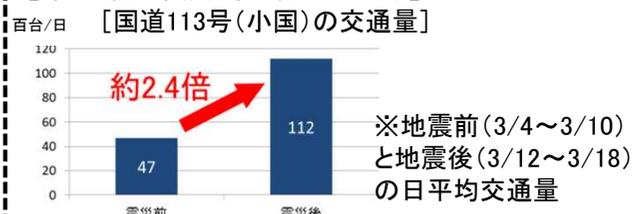


資料：H22センサス平日旅行速度より

【国道113号の災害による通行規制】



【東日本大震災時の国道113号】



被災地へ向かう支援車両
[H23.3.17(木)]



被災地へ向かう救急車両など
国道113号 関川道の駅
[H23.3.17(木)]

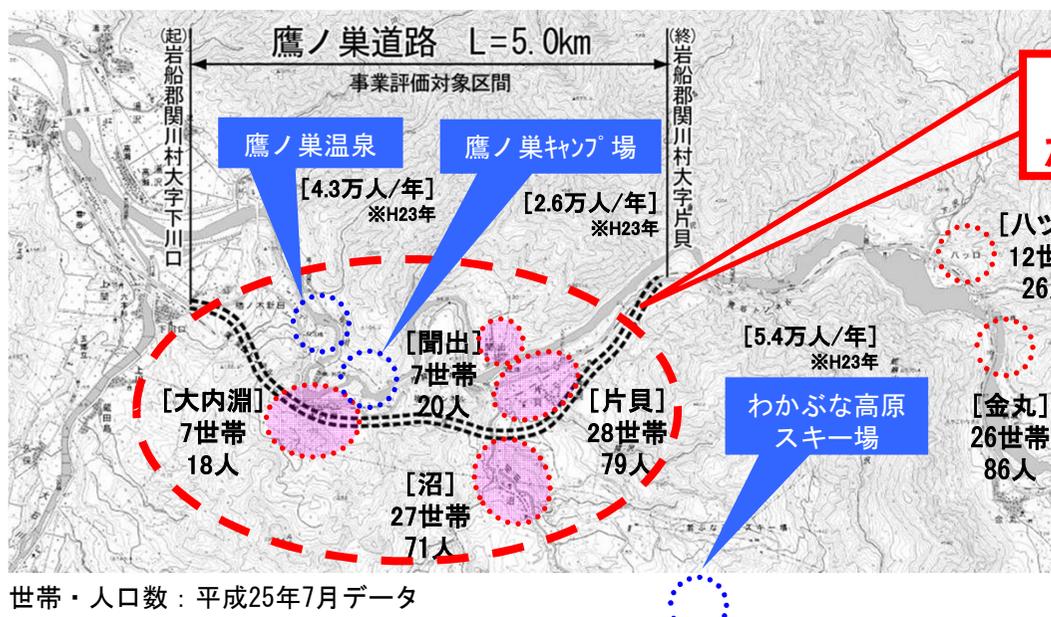


3. 当該道路の役割・効果

②孤立集落の解消・経済活動停止の回避

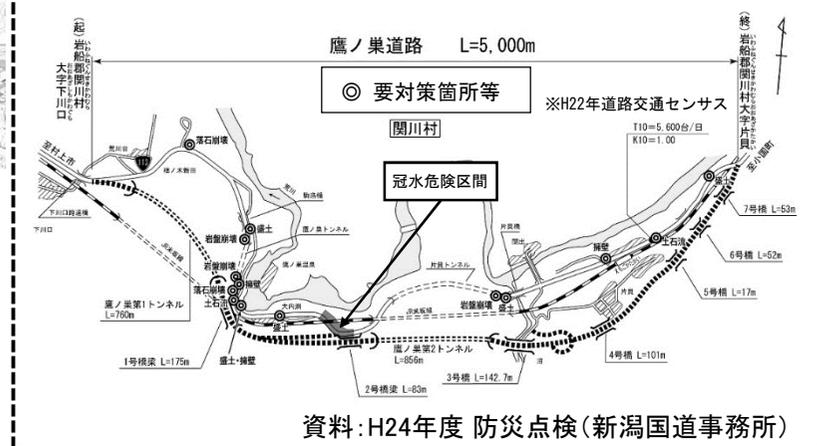
- 当該道路を遮断する災害が発生した場合、4集落（188人）の孤立が生じる恐れがある。
- また当該区間が通行止めになった場合、関川村の観光地である「鷹ノ巣温泉」や「わかぶな高原スキー場」など地域経済活動に多大な影響を与える。
- 鷹ノ巣道路の整備により、災害時における集落の孤立化を解消するとともに関川村内の経済活動停止を回避することができる。

【災害等の道路寸断による孤立化の危険性が高い集落】



4集落が孤立する危険性がある(69世帯、188人)

【災害発生の高危険箇所】



【鷹ノ巣温泉】

荒川溪谷の中に位置する温泉地。宿はつり橋を渡って行く別荘式離れの宿が2軒、国道沿いに1軒の計3軒。年間入り込み客数は約4.3万人※(宿泊者割合90%)
※H23年データ

【わかぶな高原スキー場】

昭和62年開設。新潟市から高速道路利用で約1時間。新潟駅からのシャトル便や高速利用者へのリフト券割引販売などを実施。年間入り込み客数は約5.4万人※
※H23年データ

3. 当該道路の役割・効果

③救急医療施設への「命の道」としてのアクセス向上

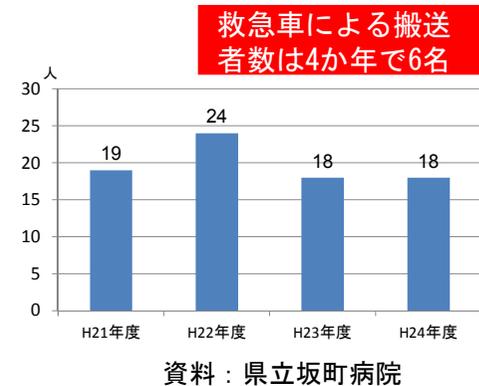
- 鷹ノ巣道路の整備により、6集落（300人）の救急医療機関へのアクセス性が向上される。
- 隣の山形県小国町から、出産や人工透析で新潟側の病院に通院。H20年9月から小国町の町立小国病院での分娩ができなくなったことで新潟側の病院への依存が高まり、さらに国道113号の重要度が増加。
- 鷹ノ巣道路の整備により、救急医療施設への搬送時間の短縮や搬送時の安全性が確保されるなど、迅速な救命救急活動を支援する。



【道路整備により救急医療サービスが向上する集落】



【小国町民の県立坂町病院利用実態】



【新潟県側のサービスに依存する小国町】

「出産」の場合

- ・小国町の出生者のうち19%が新潟県で出産（H24年度出生者数58人中、11名が新潟県で出産）
- ・H20年度9月から町立小国病院で分娩ができなくなり、町外へ100%依存。
- ・新潟県での平均出産数は3.3人→5.6人に増加

「人工透析」の場合

- ・国道113号利用で県立坂町病院に3人、村上総合病院に1人の計4人（全透析者の20%）が新潟県の病院に通院。※H24年度
- ・通院頻度は1～3回/週

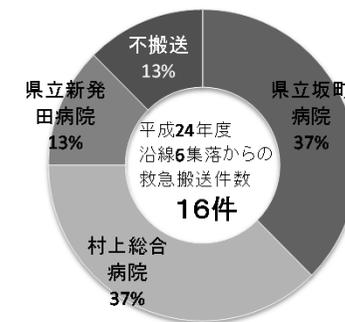
H24年度 11名



H24年度 4名



【現道沿線6集落の救急搬送先】



資料：村上消防署 関川分署

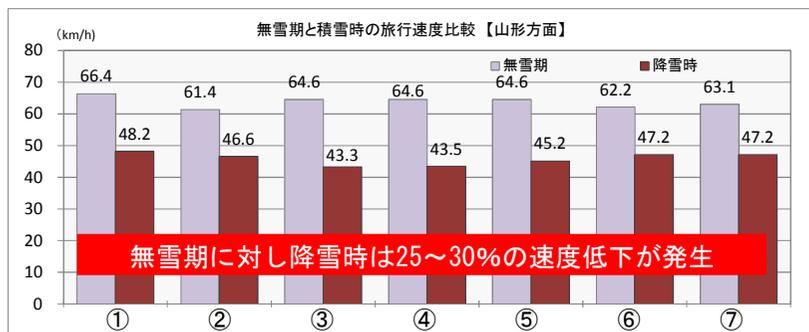
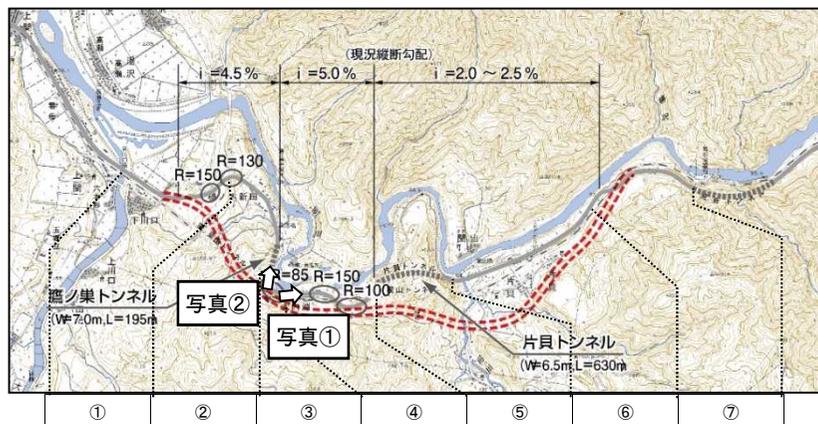
資料：小国町 | 新潟 | 山形
※ 全透析者数20人（H24年度）

3. 当該道路の役割・効果

④冬期交通障害の解消

- 国道113号沿線地域は冬期降雪日数が多く、雪による旅行速度の低下が著しい。鷹ノ巣道路区間では、雪により約30%程度の旅行速度低下。
- 冬期の豪雪に加え、唯一の生活道という状況が、住民生活や経済活動に大きな負荷を与えている。
- 鷹ノ巣道路の整備により、線形不良区間の回避や、堆雪幅に必要な幅員確保などが図られることで、冬期間においても安定的な交通機能が確保される。

【国道113号の冬期における旅行速度の低下】



資料：降雪時(路面状況が雪の場合)：H25.1/18及び2/21の実測値。
無雪期はH23.10月の平日平均(民間プローブ) ※H24年度羽越河川国道事務所調査データ

【冬期の交通状況と降雪日数】

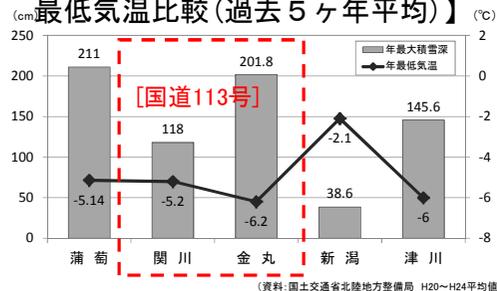


【写真②→】
冬期の路面状況

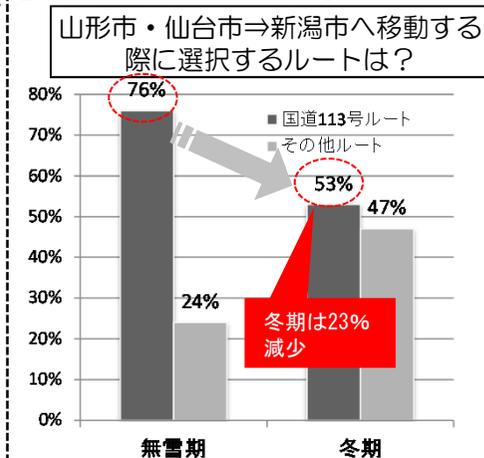
降雪日数	降雪開始 終了日数	冬期降雪 以外日数
76日	108日	32日

資料：気象庁(下関：H15~24年度 10カ年平均)

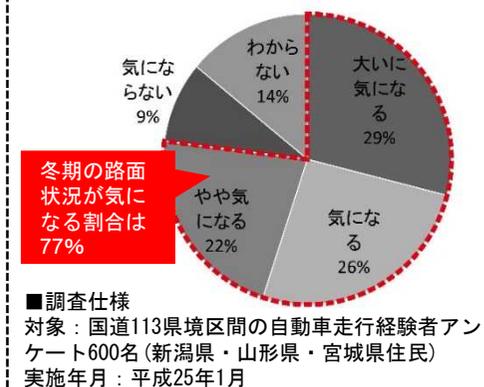
【国道113沿道地域と他地域の積雪量
最低気温比較(過去5ヶ年平均)】



【雪道の運転への不安】



国道113号県境ルート利用時の評価
(冬期の路面状態について)



4. 費用と効果

- ・事業費：153億円
- ・基準年における費用及び便益の現在価値
 現在価値算出のための割引率：4%
 基準年次：平成25年度
 検討年数：50年

- ・将来道路網：現在の一般県道以上の道路網を基本に、平成25年6月時点で事業化済みの計画路線を対象にした道路網である。

<費用>

基準年における 現在価値		事業費	維持管理費
事業全体	167億円	144億円	23億円
残事業	107億円	85億円	23億円

<3便益>

基準年における現在価値		走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益
事業全体	164億円	128億円	25億円	11億円
残事業	164億円	128億円	25億円	11億円

- 注1) 便益・費用については、基準年における現在価値化後の値である。
 注2) 費用及び便益額は整数止めとする。
 注3) 費用及び便益の合計額は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。
 注4) 便益の算定については、「将来交通需要推計手法の改善について【中間とりまとめ】」に示された第二段階の改善を反映している。

<防災面を含む多様な効果>

鷹ノ巣道路の役割	具体的内容
① 孤立集落の解消・経済活動停止の回避	<ul style="list-style-type: none"> ◆代替路が形成されることで孤立集落が解消 ・沿線集落の孤立化が解消されることで集落住民の安全で安心な暮らしが確保 ・地域の孤立が解消されることで、災害時の社会的活動損失が減少
② 救急医療施設への「命の道」としてのアクセス性向上	<ul style="list-style-type: none"> ◆救急医療施設へのアクセスが向上し、迅速な救命救急活動を支援 ◆山形県側から県境を越えた人工透析や出産等の通院行動の安全・安心が確保 ・関川村の県境部集落や山形県小国町から県立坂町病院(村上市)へのアクセス時間短縮
③ 災害に強い道路ネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> ◆冠水危険区間や防災点検箇所等を回避することで災害に強い道路ネットワークが形成 ・災害による通行止めに伴う大幅な迂回が解消 ・第1次緊急輸送道路として、緊急時の防災拠点等へのアクセス信頼性が確保
④ 冬期交通障害の解消	<ul style="list-style-type: none"> ◆急勾配や急カーブなど線形不良区間を回避することで、登坂不能等による冬期の交通障害を解消 ・雪道運転への不安が解消され、冬期における広域移動時のルート選択

5. 対応方針（原案）

1) 事業の必要性に関する視点

- 現道区間は、冠水や災害等による通行止め時には大幅な迂回を強いられるが、鷹ノ巣道路の整備により、災害時における信頼性が向上
- 現道区間の急カーブ・急勾配区間では、事故や登坂不能等による交通障害が発生しているが、鷹ノ巣道路の整備によって安全で円滑な交通を確保
- 鷹ノ巣道路の整備により、救急医療施設へのアクセス性が向上し、搬送時間の短縮や安全性が向上

2) 事業進捗の見込みの視点

- 計画路線は地形、土地利用状況、主要な幹線道路等との接続などを勘案して決定したものであり、用地買収は約8割、事業は約3割が完了。
- 事業区間について早期の開通に向け事業を推進。

3) コスト縮減からの視点

- 国道113号鷹ノ巣道路は、平成9年の事業化を受けて用地取得と工事に着手したものであるが、地域高規格道路の構造要件の緩和等を受けて、構造・規格や施設規模は必要最低限で計画し、最適なルートに見直し。
- 他事業の建設発生土の有効活用することでコスト縮減に努力。

4) 対応方針（原案）

対応方針（原案） 事業継続

（理由）

- ○ 国道113号鷹ノ巣道路は、地域高規格道路「新潟山形南部連絡道路」延長約80kmのうち、起点側の関川村下川口～関川村片貝間の延長約5.0kmの道路であり、広域ネットワークの一部を構成する重要な役割を担っている。
- 鷹ノ巣道路の整備により、災害に強く信頼性の高い幹線道路ネットワークの形成、冠水危険区間や急カーブ・急勾配区間及び冬期交通障害の回避、孤立集落の解消や救急医療施設への「命の道」としての信頼性向上など、防災面で大きな効果が見込まれるため事業を継続する。

參考資料

費用と便益の内容

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道113号	鷹ノ巣道路	L=5.0km	地域高規格道路	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
7,600	2	北陸地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成25年度		
単純合計	146億円	69億円	215億円
うち残事業分	100億円	69億円	169億円
基準年における 現在価値 (C)	144億円	23億円	167億円
うち残事業分	85億円	23億円	107億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成25年度			
供用年	平成33年度			
単年便益 (初年便益)	8.9億円	1.7億円	0.8億円	11億円
基準年における 現在価値 (B)	128億円	25億円	11億円	164億円
うち残事業分	128億円	25億円	11億円	164億円

交通状況の変化（全体事業・残事業）

様式－3①

事業名 鷹ノ巣道路

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 5.0km	交通量 ^{※1}	[台/日]		7,600	
	走行時間 ^{※2}	[分]		5	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]		7.22	
②主な周辺道路 ^{※4}	A. 国道 113号現道 5.3km	交通量	[台/日]	7,400	0
		走行時間	[分]	9	7
		走行時間費用	[億円/年]	14.33	0.00
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 L=6,909.13km	走行時間費用	[億円/年]	17.87	17.15	

※注1：その他道路は通行止めによる迂回により生じる費用を計上

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：6,919.44km	走行時間短縮便益	[億円/年]	32.21	24.37	7.84

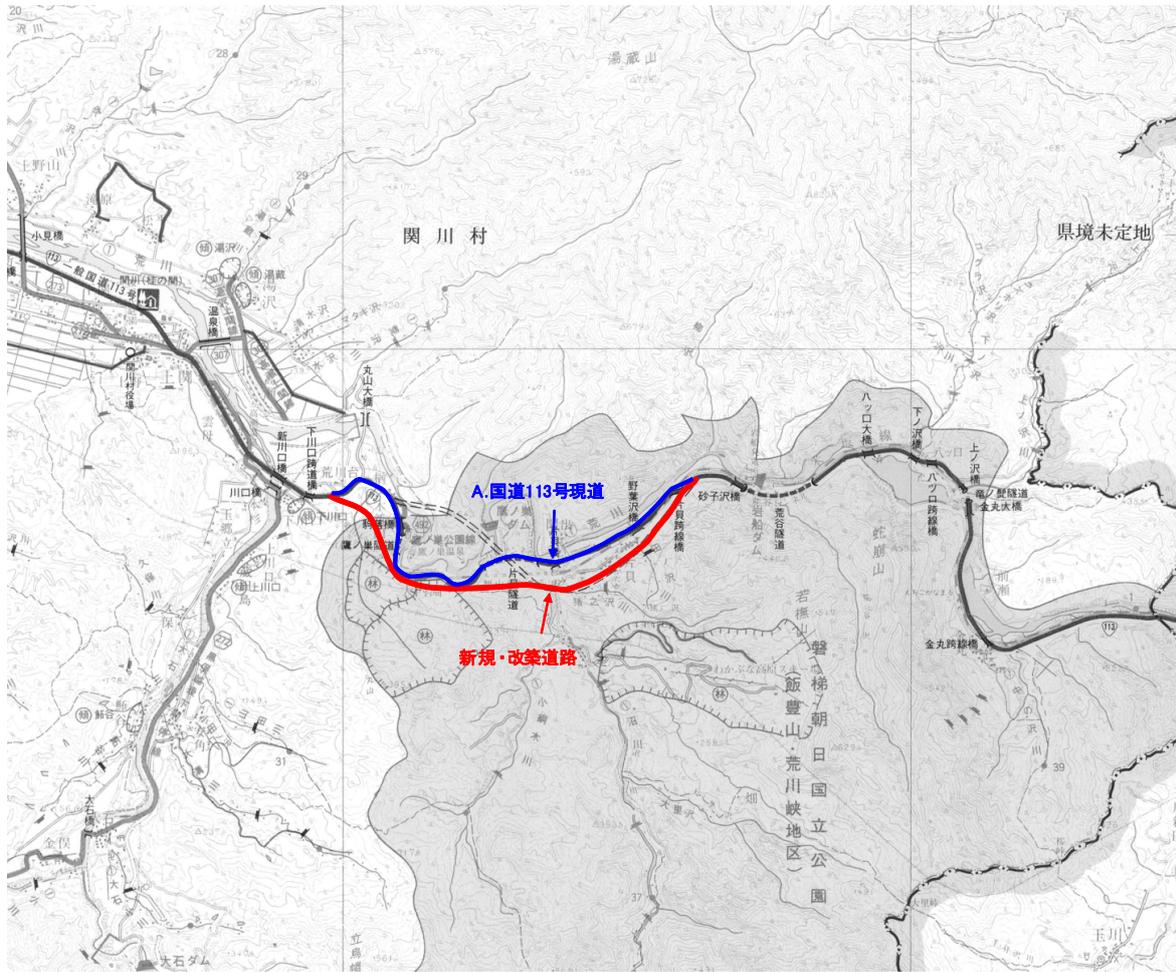
※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名： 鷹ノ巣道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成25年度
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>

事業名: 鷹ノ巣道路

(3)

項目		チェック欄		
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input checked="" type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数	(105.9)%
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載 休日係数1.1を超える月が年間で9カ月ある。現道における平成24年度常観交通量データにより平休比を集計			
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数	(84) 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載 過去30年間の実績を考慮	
			とり止め交通を考慮する	<input type="checkbox"/>
	とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載 過去の実績値がないため			
冬期交通の 影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>		
	考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する 場合のみ	採用した冬期日数(年あたり)	(108) 日	
		採用した冬期日数の考え方を記載 降雪が最初に観測された日から最後に観測された日までの日数(108日)及び降雪日数(76日)を考慮		
		冬期の走行速度と交通容量の関係	設定の考え方を記載 通常期と冬期の速度比(降雪時19%低下、降雪時以外10%低下)を考慮	
交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行 経費減少・交通事故 減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名： 鷹ノ巣道路

(4)

		項目	チェック欄
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	■
		標準投資パターンを採用	□
		その他()	□
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		北陸地方整備局管内直轄路線の実績値から設定	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	■	
その他			
4. その他			

費用の現在価値算定表

箇所名: 鷹ノ巣道路		全体事業		維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.290	5.0	1.45	
年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
基準年度	H 25		92.1				
-24年目	H 9	1.8730	110.4	1.05	1.64		
-23年目	H 10	1.8009	109.9	1.43	2.16		
-22年目	H 11	1.7317	108.4	1.24	1.82		
-21年目	H 12	1.6651	107.2	7.14	10.22		
-20年目	H 13	1.6010	105.7	3.14	4.38		
-19年目	H 14	1.5395	103.8	4.21	6.15		
-18年目	H 15	1.4802	102.3	8.68	11.63		
-17年目	H 16	1.4233	101.0	1.71	2.22		
-16年目	H 17	1.3686	99.6	0.80	1.01		
-15年目	H 18	1.3159	98.7	0.64	0.78		
-14年目	H 19	1.2653	97.6	2.53	3.04		
-13年目	H 20	1.2167	96.8	1.41	1.63		
-12年目	H 21	1.1699	95.6	0.51	0.58		
-11年目	H 22	1.1249	93.7	0.48	0.53		
-10年目	H 23	1.0816	92.1	3.82	4.13		
-9年目	H 24	1.0400	92.1	4.68	4.86		
-8年目	H 25	1.0000	92.1	2.86	2.86		
-7年目	H 26	0.9615	92.1	5.72	5.50		
-6年目	H 27	0.9246	92.1	8.67	8.01		
-5年目	H 28	0.8890	92.1	16.38	14.56		
-4年目	H 29	0.8548	92.1	26.76	22.88		
-3年目	H 30	0.8219	92.1	26.57	21.84		
-2年目	H 31	0.7903	92.1	9.81	7.75		
-1年目	H 32	0.7599	92.1	5.62	4.27		
供用開始年次	H 33	0.7307	92.1			1.38	1.01
1年目	H 34	0.7026	92.1			1.38	0.97
2年目	H 35	0.6756	92.1			1.38	0.93
3年目	H 36	0.6496	92.1			1.38	0.90
4年目	H 37	0.6246	92.1			1.38	0.86
5年目	H 38	0.6006	92.1			1.38	0.83
6年目	H 39	0.5775	92.1			1.38	0.80
7年目	H 40	0.5553	92.1			1.38	0.77
8年目	H 41	0.5339	92.1			1.38	0.74
9年目	H 42	0.5134	92.1			1.38	0.71
10年目	H 43	0.4936	92.1			1.38	0.68
11年目	H 44	0.4746	92.1			1.38	0.66
12年目	H 45	0.4564	92.1			1.38	0.63
13年目	H 46	0.4388	92.1			1.38	0.61
14年目	H 47	0.4220	92.1			1.38	0.58
15年目	H 48	0.4057	92.1			1.38	0.56
16年目	H 49	0.3901	92.1			1.38	0.54
17年目	H 50	0.3751	92.1			1.38	0.52
18年目	H 51	0.3607	92.1			1.38	0.50
19年目	H 52	0.3468	92.1			1.38	0.48
20年目	H 53	0.3335	92.1			1.38	0.46
21年目	H 54	0.3207	92.1			1.38	0.44
22年目	H 55	0.3083	92.1			1.38	0.43
23年目	H 56	0.2965	92.1			1.38	0.41
24年目	H 57	0.2851	92.1			1.38	0.39
25年目	H 58	0.2741	92.1			1.38	0.38
26年目	H 59	0.2636	92.1			1.38	0.36
27年目	H 60	0.2534	92.1			1.38	0.35
28年目	H 61	0.2437	92.1			1.38	0.34
29年目	H 62	0.2343	92.1			1.38	0.32
30年目	H 63	0.2253	92.1			1.38	0.31
31年目	H 64	0.2166	92.1			1.38	0.30
32年目	H 65	0.2083	92.1			1.38	0.29
33年目	H 66	0.2003	92.1			1.38	0.28
34年目	H 67	0.1926	92.1			1.38	0.27
35年目	H 68	0.1852	92.1			1.38	0.26
36年目	H 69	0.1780	92.1			1.38	0.25
37年目	H 70	0.1712	92.1			1.38	0.24
38年目	H 71	0.1646	92.1			1.38	0.23
39年目	H 72	0.1583	92.1			1.38	0.22
40年目	H 73	0.1522	92.1			1.38	0.21
41年目	H 74	0.1463	92.1			1.38	0.20
42年目	H 75	0.1407	92.1			1.38	0.19
43年目	H 76	0.1353	92.1			1.38	0.19
44年目	H 77	0.1301	92.1			1.38	0.18
45年目	H 78	0.1251	92.1			1.38	0.17
46年目	H 79	0.1203	92.1			1.38	0.17
47年目	H 80	0.1157	92.1			1.38	0.16
48年目	H 81	0.1112	92.1			1.38	0.15
49年目	H 82	0.1069	92.1			1.38	0.15
合計				142.29	144.07	69.05	22.58
単純事業費計				145.86		69.05	

注1) 事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名：鷹ノ巣道路		残事業		維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)		延長(km)	
				0.290	5.0	1.45	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
基準年度	H 25		92.1				
-8年目	H 25	1.0000	92.1				
-7年目	H 26	0.9615	92.1	5.72	5.50		
-6年目	H 27	0.9246	92.1	8.67	8.01		
-5年目	H 28	0.8890	92.1	16.38	14.56		
-4年目	H 29	0.8548	92.1	26.76	22.88		
-3年目	H 30	0.8219	92.1	26.57	21.84		
-2年目	H 31	0.7903	92.1	9.81	7.75		
-1年目	H 32	0.7599	92.1	5.62	4.27		
供用開始年次	H 33	0.7307	92.1			1.38	1.01
1年目	H 34	0.7026	92.1			1.38	0.97
2年目	H 35	0.6756	92.1			1.38	0.93
3年目	H 36	0.6496	92.1			1.38	0.90
4年目	H 37	0.6246	92.1			1.38	0.86
5年目	H 38	0.6006	92.1			1.38	0.83
6年目	H 39	0.5775	92.1			1.38	0.80
7年目	H 40	0.5553	92.1			1.38	0.77
8年目	H 41	0.5339	92.1			1.38	0.74
9年目	H 42	0.5134	92.1			1.38	0.71
10年目	H 43	0.4936	92.1			1.38	0.68
11年目	H 44	0.4746	92.1			1.38	0.66
12年目	H 45	0.4564	92.1			1.38	0.63
13年目	H 46	0.4388	92.1			1.38	0.61
14年目	H 47	0.4220	92.1			1.38	0.58
15年目	H 48	0.4057	92.1			1.38	0.56
16年目	H 49	0.3901	92.1			1.38	0.54
17年目	H 50	0.3751	92.1			1.38	0.52
18年目	H 51	0.3607	92.1			1.38	0.50
19年目	H 52	0.3468	92.1			1.38	0.48
20年目	H 53	0.3335	92.1			1.38	0.46
21年目	H 54	0.3207	92.1			1.38	0.44
22年目	H 55	0.3083	92.1			1.38	0.43
23年目	H 56	0.2965	92.1			1.38	0.41
24年目	H 57	0.2851	92.1			1.38	0.39
25年目	H 58	0.2741	92.1			1.38	0.38
26年目	H 59	0.2636	92.1			1.38	0.36
27年目	H 60	0.2534	92.1			1.38	0.35
28年目	H 61	0.2437	92.1			1.38	0.34
29年目	H 62	0.2343	92.1			1.38	0.32
30年目	H 63	0.2253	92.1			1.38	0.31
31年目	H 64	0.2166	92.1			1.38	0.30
32年目	H 65	0.2083	92.1			1.38	0.29
33年目	H 66	0.2003	92.1			1.38	0.28
34年目	H 67	0.1926	92.1			1.38	0.27
35年目	H 68	0.1852	92.1			1.38	0.26
36年目	H 69	0.1780	92.1			1.38	0.25
37年目	H 70	0.1712	92.1			1.38	0.24
38年目	H 71	0.1646	92.1			1.38	0.23
39年目	H 72	0.1583	92.1			1.38	0.22
40年目	H 73	0.1522	92.1			1.38	0.21
41年目	H 74	0.1463	92.1			1.38	0.20
42年目	H 75	0.1407	92.1			1.38	0.19
43年目	H 76	0.1353	92.1			1.38	0.19
44年目	H 77	0.1301	92.1			1.38	0.18
45年目	H 78	0.1251	92.1			1.38	0.17
46年目	H 79	0.1203	92.1			1.38	0.17
47年目	H 80	0.1157	92.1			1.38	0.16
48年目	H 81	0.1112	92.1			1.38	0.15
49年目	H 82	0.1069	92.1	-0.10	-0.01	1.38	0.15
合計				99.43	84.80	69.05	22.58
単純事業費計				99.53		69.05	

注1) 事業費の投資パターンは、詳細事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

箇所名：鷹ノ巣道路

便益の現在価値算定表(全体事業・残事業)

年次 (採算年)	年度 (採算年)	総走行キロの年次別伸び率 (北陸DVI)			GDP テラレタ	走行時間短縮便益(億円)			走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)							
		乗用車類	小型貨物	普通貨物		乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	(A)×②		③	③×(A)					
採用開始年次	H 33	0.99588	0.98583	0.98106	0.99285	7.307	0.7307	0.7307	92.1	3.23	0.52	5.18	8.92	6.52	0.62	0.07	1.01	1.71	1.25	0.80	0.58	11.43	8.35
1年目	H 34	0.99586	0.98563	0.98070	0.99280	0.7026	0.7026	92.1	3.21	0.51	5.08	8.80	6.18	0.62	0.07	0.99	1.69	1.18	0.79	0.56	1.18	11.28	7.92
2年目	H 35	0.99585	0.98542	0.98032	0.99275	0.6756	0.6756	92.1	3.20	0.51	4.98	8.68	5.86	0.62	0.07	0.97	1.66	1.12	0.79	0.53	1.13	11.13	7.52
3年目	H 36	0.99583	0.98520	0.97992	0.99270	0.6496	0.6496	92.1	3.19	0.50	4.88	8.56	5.56	0.61	0.07	0.95	1.64	1.06	0.78	0.51	1.08	10.98	7.13
4年目	H 37	0.99581	0.98498	0.97964	0.99264	0.6246	0.6246	92.1	3.17	0.49	4.78	8.44	5.27	0.61	0.07	0.93	1.62	1.01	0.77	0.48	1.03	10.83	6.76
5年目	H 38	0.99579	0.98475	0.97908	0.99259	0.6006	0.6006	92.1	3.16	0.48	4.68	8.32	5.00	0.61	0.07	0.91	1.59	0.96	0.77	0.46	1.03	10.68	6.41
6年目	H 39	0.99578	0.98452	0.97864	0.99253	0.5775	0.5775	92.1	3.15	0.48	4.58	8.20	4.73	0.61	0.07	0.90	1.57	0.91	0.76	0.44	1.03	10.53	6.08
7年目	H 40	0.99576	0.98427	0.97817	0.99248	0.5533	0.5533	92.1	3.13	0.47	4.48	8.03	4.49	0.60	0.07	0.88	1.55	0.86	0.76	0.42	1.03	10.38	5.76
8年目	H 41	0.99574	0.98402	0.97768	0.99242	0.5339	0.5339	92.1	3.12	0.46	4.38	7.86	4.25	0.60	0.07	0.86	1.52	0.81	0.75	0.40	1.03	10.23	5.46
9年目	H 42	0.99572	0.98376	0.97717	0.99236	0.5134	0.5134	92.1	3.11	0.45	4.28	7.84	4.02	0.60	0.07	0.84	1.50	0.77	0.75	0.38	1.03	10.08	5.18
10年目	H 43	0.99577	0.98335	0.97699	0.99205	0.4936	0.4936	92.1	3.08	0.45	4.29	7.81	3.86	0.59	0.06	0.84	1.50	0.74	0.74	0.36	1.03	10.05	4.96
11年目	H 44	0.99069	0.98330	0.97699	0.99193	0.4746	0.4746	92.1	3.05	0.45	4.29	7.79	3.70	0.59	0.06	0.84	1.49	0.71	0.73	0.35	1.03	10.01	4.75
12年目	H 45	0.99060	0.98326	0.97699	0.99193	0.4564	0.4564	92.1	3.02	0.44	4.30	7.77	3.54	0.58	0.06	0.84	1.49	0.68	0.73	0.33	0.98	9.98	4.56
13年目	H 46	0.99051	0.98316	0.97699	0.99186	0.4388	0.4388	92.1	2.99	0.44	4.31	7.74	3.40	0.58	0.06	0.84	1.48	0.65	0.72	0.32	0.95	9.94	4.37
14年目	H 47	0.99042	0.98312	0.97699	0.99179	0.4220	0.4220	92.1	2.96	0.44	4.32	7.72	3.26	0.57	0.06	0.84	1.48	0.62	0.72	0.30	0.91	9.91	4.18
15年目	H 48	0.99033	0.98312	0.97699	0.99173	0.4057	0.4057	92.1	2.93	0.44	4.33	7.70	3.12	0.57	0.06	0.85	1.47	0.60	0.71	0.29	0.88	9.88	4.01
16年目	H 49	0.99023	0.98307	0.97699	0.99166	0.3901	0.3901	92.1	2.90	0.43	4.34	7.67	2.99	0.56	0.06	0.85	1.47	0.57	0.70	0.27	0.85	9.85	3.84
17年目	H 50	0.99014	0.98302	0.97699	0.99159	0.3751	0.3751	92.1	2.88	0.43	4.35	7.65	2.87	0.55	0.06	0.85	1.47	0.55	0.70	0.26	0.81	9.81	3.68
18年目	H 51	0.99004	0.98297	0.97699	0.99152	0.3607	0.3607	92.1	2.85	0.43	4.35	7.63	2.75	0.55	0.06	0.85	1.46	0.53	0.69	0.25	0.78	9.78	3.53
19年目	H 52	0.98994	0.98292	0.97699	0.99144	0.3468	0.3468	92.1	2.82	0.42	4.36	7.60	2.64	0.54	0.06	0.85	1.46	0.51	0.69	0.24	0.75	9.75	3.38
20年目	H 53	0.98984	0.98287	0.97699	0.99137	0.3335	0.3335	92.1	2.79	0.42	4.37	7.58	2.53	0.54	0.06	0.85	1.45	0.48	0.68	0.23	0.71	9.71	3.24
21年目	H 54	0.98973	0.98282	0.97699	0.99129	0.3207	0.3207	92.1	2.76	0.42	4.38	7.56	2.42	0.53	0.06	0.86	1.45	0.46	0.67	0.22	0.68	9.68	3.10
22年目	H 55	0.98963	0.98277	0.97699	0.99122	0.3083	0.3083	92.1	2.73	0.41	4.39	7.54	2.32	0.53	0.06	0.86	1.44	0.45	0.67	0.21	0.65	9.65	2.97
23年目	H 56	0.98952	0.98272	0.97699	0.99114	0.2965	0.2965	92.1	2.70	0.41	4.40	7.51	2.23	0.52	0.06	0.86	1.44	0.43	0.66	0.20	0.62	9.62	2.85
24年目	H 57	0.98941	0.98266	0.97699	0.99106	0.2851	0.2851	92.1	2.68	0.41	4.41	7.49	2.14	0.52	0.06	0.86	1.44	0.41	0.66	0.19	0.58	9.58	2.73
25年目	H 58	0.98929	0.98261	0.97699	0.99098	0.2741	0.2741	92.1	2.65	0.41	4.41	7.47	2.05	0.51	0.06	0.86	1.43	0.39	0.65	0.18	0.55	9.55	2.62
26年目	H 59	0.98918	0.98256	0.97699	0.99090	0.2636	0.2636	92.1	2.62	0.40	4.42	7.44	1.96	0.50	0.06	0.86	1.43	0.38	0.64	0.17	0.52	9.52	2.51
27年目	H 60	0.98906	0.98250	0.97699	0.99083	0.2534	0.2534	92.1	2.59	0.40	4.43	7.42	1.88	0.50	0.06	0.87	1.42	0.36	0.64	0.16	0.48	9.48	2.40
28年目	H 61	0.98894	0.98244	0.97699	0.99073	0.2437	0.2437	92.1	2.56	0.40	4.44	7.40	1.80	0.49	0.06	0.87	1.42	0.35	0.63	0.15	0.45	9.45	2.30
29年目	H 62	0.98881	0.98238	0.97699	0.99064	0.2343	0.2343	92.1	2.53	0.39	4.45	7.37	1.73	0.49	0.06	0.87	1.41	0.33	0.63	0.15	0.42	9.42	2.21
30年目	H 63	0.98870	0.98233	0.97699	0.99056	0.2253	0.2253	92.1	2.50	0.39	4.46	7.35	1.66	0.48	0.06	0.87	1.41	0.32	0.62	0.14	0.38	9.38	2.11
31年目	H 64	0.98859	0.98228	0.97699	0.99048	0.2166	0.2166	92.1	2.47	0.39	4.47	7.33	1.59	0.48	0.06	0.87	1.41	0.30	0.62	0.13	0.35	9.35	2.02
32年目	H 65	0.98848	0.98223	0.97699	0.99040	0.2083	0.2083	92.1	2.45	0.38	4.47	7.30	1.52	0.47	0.06	0.88	1.40	0.29	0.61	0.13	0.32	9.32	1.94
33年目	H 66	0.98837	0.98218	0.97699	0.99032	0.2003	0.2003	92.1	2.42	0.38	4.48	7.28	1.46	0.47	0.05	0.88	1.40	0.28	0.60	0.12	0.28	9.28	1.86
34年目	H 67	0.98826	0.98213	0.97699	0.99024	0.1926	0.1926	92.1	2.39	0.38	4.49	7.26	1.40	0.46	0.05	0.88	1.39	0.27	0.60	0.12	0.25	9.25	1.78
35年目	H 68	0.98815	0.98208	0.97699	0.99016	0.1852	0.1852	92.1	2.36	0.38	4.50	7.24	1.34	0.46	0.05	0.88	1.39	0.26	0.59	0.11	0.22	9.22	1.71
36年目	H 69	0.98804	0.98203	0.97699	0.99008	0.1780	0.1780	92.1	2.33	0.37	4.51	7.21	1.28	0.45	0.05	0.88	1.38	0.25	0.59	0.10	0.18	9.18	1.63
37年目	H 70	0.98793	0.98198	0.97699	0.99000	0.1712	0.1712	92.1	2.30	0.37	4.52	7.19	1.23	0.44	0.05	0.88	1.38	0.24	0.58	0.10	0.15	9.15	1.57
38年目	H 71	0.98782	0.98193	0.97699	0.98992	0.1646	0.1646	92.1	2.28	0.37	4.53	7.17	1.18	0.44	0.05	0.89	1.38	0.23	0.57	0.09	0.12	9.12	1.50
39年目	H 72	0.98771	0.98188	0.97699	0.98984	0.1583	0.1583	92.1	2.25	0.36	4.54	7.15	1.13	0.43	0.05	0.89	1.37	0.22	0.57	0.09	0.09	9.09	1.44
40年目	H 73	0.98760	0.98183	0.97699	0.98976	0.1522	0.1522	92.1	2.22	0.36	4.54	7.13	1.08	0.43	0.05	0.89	1.37	0.21	0.56	0.08	0.08	9.06	1.38
41年目	H 74	0.98749	0.98178	0.97699	0.98968	0.1463	0.1463	92.1	2.19	0.36	4.55	7.10	1.04	0.42	0.05	0.89	1.36	0.20	0.56	0.08	0.08	9.02	1.32
42年目	H 75	0.98738	0.98173	0.97699	0.98960	0.1407	0.1407	92.1	2.17	0.35	4.56	7.08	1.00	0.42	0.05	0.89	1.36	0.19	0.55	0.08	0.08	8.99	1.27
43年目	H 76	0.98727	0.98168	0.97699	0.98952	0.1353	0.1353	92.1	2.14	0.35	4.57	7.06	0.96	0.41	0.05	0.89	1.36	0.18	0.54	0.07	0.07	8.96	1.21
44年目	H 77	0.98716	0.98163	0.97699	0.98944	0.1301	0.1301	92.1	2.11	0.35	4.58	7.04	0.92	0.41	0.05	0.90	1.35	0.18	0.54	0.07	0.07	8.93	1.16
45年目	H 78	0.98705	0.98158	0.97699	0.98936	0.1251	0.1251	92.1															

路線名	箇所名	車線数	延長
国道113号鷹ノ巣道路	新潟県岩船郡関川村下川口～金丸	2	5.068km

■全体事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					12,415	
改良費					2,752	
	土工		m ³	1,190,227	2,190	切土(452,877m ³)、盛土(737,350m ³)、購入土(184,874m ³)
	法面工		m ²	79,319	238	切土法面、盛土法面
	擁壁工		式	2,866	105	重力式擁壁、補強土壁、ブロック積擁壁
	函渠工		m	112	117	
	排水工		m	11,247	102	
橋梁費					2,747	
	100m以上		m	393	1,724	3橋
	100m未満		m	254	1,022	4橋
トンネル費					5,350	
	1号トンネル		m	765	2,849	
	2号トンネル		m	821	2,501	
IC・JCT費					175	
	大内測IC		箇所	1	175	ダイヤモンド型(1/4)
舗装費					309	
	アスファルト舗装工		m ²	36,667	304	
	縁石工		m	2,960	5	
附帯施設費等					1,082	
	交通管理施設工		m	11,129	138	路側防護柵工、防止柵工
	法面对策工		式	1	293	切土法面
	雪崩対策施設工		m	490	499	崩落雪対策施設
	雑工		式	1	152	沼川取付道路等
②用地及補償費					680	
用地費			m ²	234,523	357	
	宅地		m ²	16,230	154	
	田畑		m ²	3,596	13	
	山林・原野		m ²	214,697	190	
補償費			式	1	323	
③間接経費					2,174	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					15,269	

注) 事業費の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

路線名	箇所名	車線数	延長
国道113号鷹ノ巣道路	新潟県岩船郡関川村下川口～金丸	2	5.068km

■ 残事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				9,922	
	改良費				760	
		土工	m ³	403,819	495	切土(108,765m ³)、盛土(295,054m ³)、購入土(7,874m ³)
		法面工	m ²	24,107	79	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	2,866	105	重力式擁壁、補強土壁、ブロック積擁壁
		函渠工	m	17	10	
		排水工	m	7,025	72	
	橋梁費				2,436	
		100m以上	m	393	1,438	3橋
		100m未満	m	254	998	4橋
	トンネル費				5,350	
		1号トンネル	m	765	2,849	
		2号トンネル	m	821	2,501	
	IC・JCT費				65	
		大内測IC	箇所	1	65	ダイヤモンド型(1/4)
	舗装費				309	
		アスファルト舗装工	m ²	36,667	304	
		縁石工	m	2,960	5	
	附帯施設費等				1,002	
		交通管理施設工	m	11,129	138	路側防護柵工、防止柵工
		法面对策工	式	1	293	切土法面
		雪崩対策施設工	m	490	499	崩落雪対策施設
		雑工	式	1	72	沼川取付道路等
②	用地及補償費				137	
	用地費		m ²	41,021	14	
		宅地	m ²			
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²	41,021	14	
	補償費		式	1	123	
③	間接経費		式	1	393	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
残事業費					10,453	

注) 事業費の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

路線名	箇所名	車線数	延長
鷹ノ巣道路	下川口～片貝	2	5.0km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円/年)	備考
維持費	km	5.0	35	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	110	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			145	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。